

ありがとう!



## 東大島文化センターニュース

3か月ごとにお届けしてきた「東大島文化センターニュース」が、今号をもって廃刊となります。

永らくご愛読いただき、ありがとうございました。

なお、バックナンバーは財団 HP に掲載しておりますので、どうぞご覧ください。



2018年8・9月号から2019年9月号まで連載のコラム  
食文化史研究家 飯野 亮一氏による  
「江戸時代の食と人々」



東大島文化センターニュース  
バックナンバーはこちら

## SNS をよろしくね! Facebook・Instagram・LINE

これからは、Facebook や Instagram そして LINE で、いろいろな情報をお届けします。Facebook や Instagram は、今まで以上に更新頻度も UP しますので、どうぞお楽しみに。江東区文化コミュニティ財団の公式 LINE アカウントも、友だち登録をお待ちしています!



## 東大島文化センターのとりくみ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご来館の際は事前の検温、手指の消毒にご協力をお願い申し上げます。本紙掲載の各事業を行う際は、対策を十分に行ったうえで実施します。

※今後の動向により、やむをえず事業を中止または延期する場合があります。



公益財団法人  
江東区文化コミュニティ財団  
まちとともに、40年。  
Koto City Culture and Community Foundation

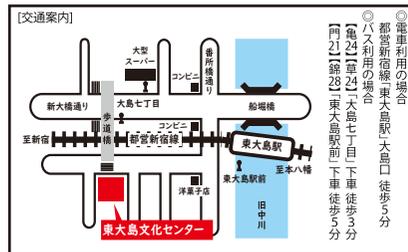


## 江東区東大島文化センター

TEL. 03-3681-6331 FAX. 03-3636-5825

〒136-0072 江東区大島 8-33-9 (地図参照)

休館日: 第1・3月曜日、ただし国民の祝日にあたる場合を除く



# 東大島文化センター ニュース冬号

発行: 2023年1月

川に沿い、人に添う

チャームポイントは  
川の字バンゲ!



カワカミくん と カワシモちゃん

- 1・2 もくじ
- 久染健夫さん  
インタビュー
- 3 イベント情報
- 4 お知らせ



江戸・東京郷土史研究者  
ひさぞめ たけお  
久染 健夫

今回は、東大島文化センター講座「そめ散歩」の講師でもある“そめさん”こと久染健夫さんにお話を伺いました。当館では周辺河川を学ぶ機会として多くのリバー事業を年間通して企画しています。「カヌーでさんぽ〜解説付き! カヌーでめぐる内部河川〜」を皮切りに、旧中川周辺のことについて深堀します!

※2022年度「カヌーでさんぽ」10/2、23実施

## 「カヌーでさんぽ」、どんな「さんぽ」なんですか?

もう4年続いています。緑豊かな旧中川沿岸を生かした事業はできないかといったセンターの発想から、この「さんぽ」の企画が始まりました。

大島カヌー散歩倶楽部のみなさんの協力を得て実現することに。カヌーをこいで、旧中川をさかのぼり、沿岸の歴史を知ろうという、財団初の試みです。もちろん私もカヌーからの解説は初体験です。



## 「さんぽ」のコース、旧中川って、どんな川なんですか?

もともと隅田川と江戸川(江戸初期までは利根川)の「中」を流れているので中川と呼ばれていた川が、大正2年(1913)から掘り進めた荒川放水路(今は荒川)で分断され、放水路の西側の中川を「旧」中川と呼ぶように。

中川ができたのは東京低地(京浜東北線沿いの崖線から市川国府台の間。江東区亀戸、墨田、江戸川、葛飾、足立区周辺)が生まれた2千年くらい前。隅田川とは同級生。そこから歴史が始まっています。

## そんなに古い川なんですね。沿岸はどんなところだったのでしょうか？

旧中川の中川大橋あたりから北へ。船堀橋西側の東大島図書館のあたりには南本所牛島神社がありました（今は東大島神社に合祀）。本所の人が開いた村があったのです。

逆井橋は東岸（江戸川区側）の逆井村に由来しています。江戸時代には逆井の渡しがありました。上を首都高速7号線が走っています。昨年が開通から50年の年でした。このころの大島は大工場が姿を消して団地や大型マンションに生まれ変わる時代。都電も昭和47年（1972）には廃線。景観そのものが変わっていった時代です。

逆井橋が架けられている通りは、江戸時代には元佐倉道と呼ばれた幹線道路でした。明暦の大火後から始められた本所の開発で豎川が開かれ、それに並走して開かれた道路です。

さらに上流へ。亀小橋という橋はかつての都電専用の鉄橋でしたが都電廃止後に橋になりました。亀戸と小松川を結ぶので亀小橋。橋の左手には浅間神社があります。日本武尊（ヤマトタケルノミコト）の妃で、東国征伐の際荒れる海を渡るため海神の怒りを鎮めようと海中に身を投げた弟橘媛（オトタチバナヒメ）の笄（コウガイ）※が流れ着いたところ。大切な笄を埋めて塚を築き、それが富士塚になり現在まで伝えられています。神話の世界にまで出会えるのが旧中川の面白さでしょうね。もう少し上流右手には逆井の富士塚と呼ばれる、富士塚を望むこともできます。ここを過ぎればふれあい橋です。

ここからカヌーは元へ戻り、最後は小名木川の河口へ。かつての中川番所跡であり、直線に流れる川筋と遠くに望む江戸城下町の中心・日本橋の高層ビル。これこそ徳川家康が江戸へ物資を集めるためにまず取り組んだ「小名木川の開削」の事情をよく物語っている光景です。

※笄とは日本髪用の髪飾。

## カヌーをこぎながら歴史を発見することの魅力とはなんですか？

それは川から歴史の現場を見ることでしょうか。町中の道を歩きながらの史跡巡りとは違った景観や発見に出会えます。川の匂いや鳥・魚も魅力かな。

この「さんぽ」は主催の東大島文化センターはもちろん、地元大島カヌー散歩倶楽部のみなさんの協力無しには実現できません。地域のみなさんとセンター、そして見事な環境がひとつになってこそ実現する事業ですね。

## イベント情報



### てくてく水辺ウォーク 梅香る亀戸 神社仏閣めぐり

2/15(水) @東武亀戸線小村井駅集合  
城東地域の起源・亀戸の名所を周りながら歴史を学び、梅香る亀戸の街歩きを楽しみます。



### 第16回 東大島おひなさま展 春を寿ぐちりめん細工

2/16(木)～3/7(火) @東大島文化センター 展示ロビー  
江東区在住のちりめん細工講師、三好裕子氏のグループ「江戸の針」による粋で可愛い作品の数々を展示します。



### 成果発表会

2/25(土)・2/26(日) @東大島文化センター 4階レクホール  
主催講座の受講生や活動団体が、日ごろの成果を発表します。



### スプリングサンデー

2/26(日) @東大島文化センター 1・2階  
体験教室のほか、ちりめん細工「江戸の針」による小物販売や、のびのび作業所フーズによるクッキー販売など開催します。



### 日本画教室作品展

3/11(土)～3/17(金) @東大島文化センター 展示ロビー  
東大島文化センター人気講座の「日本画教室」の受講生による日本画・水彩画の展示です。力作をお楽しみください。

参加者募集中！  
詳しくは窓口まで



**落語会** **東大島亭**  
**真打昇進特別公演**

【日時】  
2月12日(日)  
14:00開演(13:30開場)

【出演】  
春風亭 一蔵  
柳亭小燕枝  
入船亭扇橋

【会場】  
東大島文化センター  
4階レクホール(全席椅子席)

全席自由(全席椅子席) 前売一般…1,500円  
ティアラ友の会・受講生・カナルこうとう…1,300円 ※当日各300円増

**チケット好評発売中!**

春風亭 一蔵  
柳亭小燕枝  
入船亭扇橋

**落語会** **第24回 東大島亭**  
**三遊亭わん太**  
**独演会**

【日時】  
3月12日(日)  
14:00開演(13:30開場)

【会場】  
東大島文化センター  
4階レクホール(全席椅子席)

全席自由(全席椅子席) 前売一般…1,500円  
ティアラ友の会・受講生・カナルこうとう…1,300円  
※当日各300円増